

明石城築城 400 周年記念事業イベント

第2回 駅前市民講座

宮本武蔵は明石で一体何をしていたのか 武蔵の生きざまを探る



明石公園 武蔵の庭園

第1部

「明石と宮本武蔵

～明石は武蔵悟道の地～

ふくだ まさひで

福田 正秀 氏

(宮本武蔵研究家)

第2部

「明石と宮本武蔵の庭園

～剣豪から芸術家へ～

にし かつら

西 桂 氏

(日本庭園研究家)

日時 平成30年9月15日(土)13:00～16:00

場所 あかし市民広場 パピオスあかし2階

JR・山電明石駅南 すぐ

手話通訳・要約筆記あり

申込不要・無料

主催 明石城築城400周年記念事業実行委員会

お問合せ先：実行委員会事務局 TEL 078-911-4001 FAX 078-911-1400

講師紹介

第1部 「明石と宮本武蔵



～明石は武蔵悟道の地～

ふくだ まさひで
福田 正秀 氏（宮本武蔵研究家）

「おのづから兵法の道にあう事我五十歳の比也」（五輪書）

剣聖宮本武蔵は、38歳の時（400年前の明石城築城時）と40歳代後半から51歳まで小笠原家の客分として明石に居たことがわかった。すなわち明石で兵法至極の境地に至ったのだ。武蔵は明石で一体何をしていたのか。史料考証から通説とは違う新たな武蔵像が現れる。

〈プロフィール〉

昭和23年長崎県生まれ。熊本県山鹿市に在住。放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了。平成初期から宮本武蔵の実像に迫る論文を発表。平成15年『宮本武蔵研究論文集』で熊日マイブック出版賞受賞。平成19年『加藤清正「妻子」の研究』（水野勝之と共著）で熊日出版文化賞受賞。近年は宮本武蔵・加藤清正・肥後加藤家研究家として雑誌連載、講演、NHK 総合テレビなど各種歴史番組にも解説出演されている。

第2部 「明石と宮本武蔵の庭園



～剣豪から芸術家へ～

にし かつら
西 桂 氏（日本庭園研究家）

明石時代の宮本武蔵は「剣豪武蔵」から「芸術家武蔵」に変貌していく。その一つが庭造りで、播磨地方にのみ残る武蔵の庭園と、その生きざまを探る。

〈プロフィール〉

昭和16年兵庫県洲本市生まれ。平成12年3月県立高等学校長を最後に定年退職。神戸市文化財審議会委員、兵庫大学非常勤講師等を歴任。平成15年度「明石城武蔵の庭園」整備に復元検討委員会座長として関わる。平成24年度「日本庭園学会賞」受賞。著書に『ひょうごの庭園』等。現在、兵庫県や他府県の庭園調査や保存整備に従事されている。

〈次回案内〉 第3回：平成30年12月8日（土）14：00～16：00 あかし市民広場
テーマ「明石城の歴史と活用」 田辺 真人 氏（園田学園女子大学名誉教授）